

このたび町田教会で司牧実習をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申しあげます。

主のご復活の喜びのうちに明るくさわやかな聖母月の日



京都教区助祭

菅原友明

あおばわかばに

日々が過ぎてゆきます。「あおばわかばに風かおりて…」(カトリック聖歌三五二)という聖母月の歌がありますが、本当に若葉が美しい季節です。

二十年も前になりますが、就職して鶴見で暮らし始めた頃、横浜特有の谷戸地形に魅力を感じ、方々を歩き回つていきました。その頃に町田周辺にも何度か来ており、横浜線の車窓から見渡せる丘陵の風景を見ていました。その頃に町田教会で司牧実習をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申しあげます。



カトリック町田教会
町田市中町3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

ルカ1.48 <http://www.machida-catholic.jp/>

景を見て、当時のことを懐かしく思い出しました。なだらかに続く丘の木々に鮮やかな黄緑色の若葉が吹き出し、清々しい風にそよいでいる光景は、本当に目にまぶしく鮮やかで、沈みがちな心をしばし明るさで満たしてくれます。

その後、田無に転勤になり、国立の寮で生活していた頃に私はキリスト教と出会い、一九九七年に立川教会で洗礼を受けました。二〇〇一年に退職して京都の修道会での生活を始め、名古屋の神学院で学び、二〇一一年に助祭に叙階されました。

昨年、京都教区に転籍することとなり、今年の四月から関町の神学院に編入し、現在そちらで養成を受けたいたい 것입니다。

司祭職を目指してから今日に至るまで、紆余曲折を経て、気づいたら人生の午後を迎えていました。老いや死を想うことも多くなり、このまま心も体も枯れていく一生が終わってしまう、そんな気持ちになることがあります。

町田市内には私の好きなケヤキの木がたくさんあります。樹齢百年を超える貫禄たっぷりの木も、若い木と同じようヤキの木がたくさんあります。

これまで、町田教会で司牧実習をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申しあげます。

よろしくお願ひします

運営委員会議長

佐藤玲子

この度、安藤康弘さんから運営委員会議長のバトンを引き継ぎました佐藤です。

昨年九月二九日の臨時信者総会において、規約改正が行われ、今年度から活動年度が会計年度と同じく、一月一日から一二月三一日までとされました。という訳で、今年度は、早くも三分の一が経過したことになります。この間を振り返ってみますと、概ね平

年に至る単純な一直線などではないことを、老木の姿は語ってくれているようです。

春に芽吹いた若葉は、夏の太陽をいっぱいに浴びて光合成を盛んに行い、その酸素がすべての命を生かします。秋が来て、燃えるような紅葉の季節が終わると、養分たっぷりの枯れ葉は散つて土に帰ります。

二〇一四年春、こうして町田教会の皆様とお会いする恵みをいただくことができ、感謝しております。そして、二十年前に歩いた時と同じように、ケヤキの若葉がまぶしい多摩丘陵に、五月の風が吹き渡ります。この二十年、自分の人生がどうしてこのような軌跡をたどってきたのか、不思議です。自分の命は自分の

持続物ではない、自分の人生の主人公は自分ではない、そんなことを感じています。

パウロは「生きているのは私ではありません。キリストが私を生きているのです」(ガラテヤ二・二〇)と言います。人の愛と命が、弱くて欠点だらけのこの私を生きようとしているような気がします。

ケヤキの樹が春になるとまぶしい若葉を芽吹かせるように、神様の愛と命にお委ねすればするほど、この私の命も豊かに輝くのだと思います。そして、聖母月の五月、神様の愛と命にすべてをお委ねしたマリア様のご生涯を思い起こして、主のみ旨のままに生きる恵みを祈り求めたいと思っています。

運営委員会議長

佐藤玲子

穏に過ごせたように思います
が、皆様におかれましては、いかがお感じでしょうか。
また信徒籍を置く者から選出する運営委員の数(細則)も併せて改正され、一二名から六名に減りました。よって、今年度の運営委員の数は、神父様も含めて一二名でスタートしました。昨年度は欠員があつたため、総数としては、三四名から一二名になり、二

名少なくなつただけで、細則改正による大きな変化は感じられません。この人数でも、運営委員会は十分円滑に機能すると思いました。

私は、十年前、運営委員会が発足した年に、一度、運営委員をやらせていただいたことがあります。

その当時は、信徒による投票で、運営委員を選出していました。その生まれたばかりの運営委員会は参考にする前例もなく、正に白紙の状態で、試行錯誤を繰り返しながらの一年間でしたので、定例会も無駄に時間を費やすことが多く、とても大変な一年間だったと記憶しています。

今回は、昨年一年間活動してみて、地域ブロックや活動グループが独自の話し合いの場を持ち、積極的に教会行事に関わっていたり、また、専門委員会が、それぞれの役割をきちんと分担することによつて、運営委員会の負担が大幅に減少していると感じました。

来年は、運営委員の数が更に減少することになりますが、今年同様に、教会内の組織が連携して機能していけば、全く問題ないといました。

今年一年間、微力ではありますが、よりよい教会作りのために日々努めてまいりたい

と思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

「福島やさい畑」に関わって、「困難を乗り越えて、

こぶたのしつぼ 元 信子

「福島やさい畑」との関わりは二〇一一年十月から始まりました。

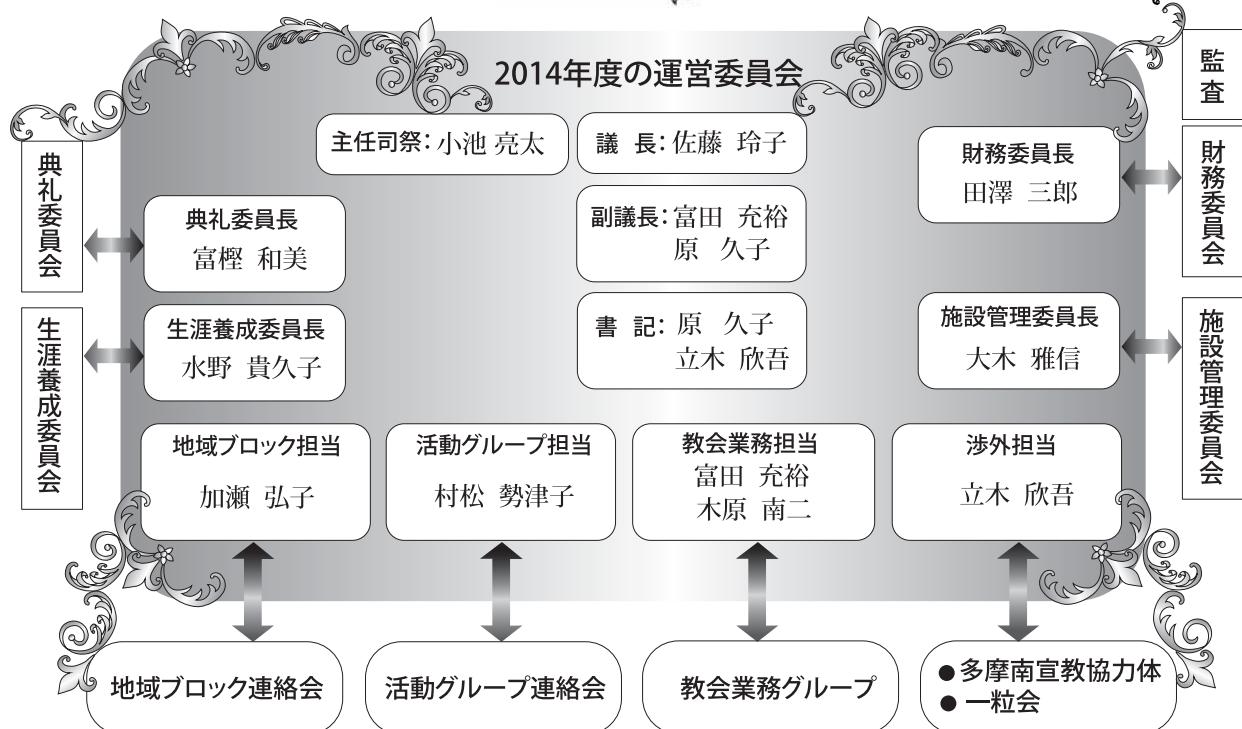
それまでは、キヤンナスという看護士さんのグループとの関わりを中心に、被災地へ衣類や食器、食品、雑貨などを送っていましたが、その後CTVC（東京カトリックボランティアセンター）から情報が入るようになってきました。

その情報も山谷夜回りに参加している田園調布教会の方からで、それが「やさい畑」との関わりのきっかけです。

当初は、誰もが放射能の汚染問題で敏感になつてゐる時に、福島の野菜を皆様に買って頂き福島を支援していただき事に悩みました。しかし、風評被害で苦しんでいる人々がたくさんいる、それはイエス様が苦しんでおられることがあります。その苦しみと共に私たちも一緒に歩こう！ そう心に決めました。

売れ残った野菜はその日の内に処分しなければならないのかしらと、販売を始める前は不安もいっぱいでした。し

本年度の 運営委員の みなさん



平成26年度 カトリック町田教会 実行体制 (I)

教会業務担当 (運営委員: 鈴野 将・富田充裕)

担当	担当業務	業務内容	連絡責任者	構成メンバー
教会業務	庶務	ミサ案内 その他	田澤 三郎	山口 広文・新納 春雄・立木 欣吾・赤瀬 亮一 大木 雅信・幾永 弘・瀧口 裕行・定光 善吾 安藤 康弘・荻津 兆秀・奥村 耕平・橋村 元雄 伊藤 時光・神谷 富雄・小溝 茂雄・遠田 治正 中 永一
		ミサボランティア	水野 貴久子	松本 亮英・三谷 凉子・佐藤 千代子・佐藤 和子 平川 ミエ子・神谷 富雄
	受付	土曜日受付	山口 静子	木村 洋子・坂井 美鈴・鹿内 容子・高尾 敏子 林 佳香
		日曜日受付 転出転入		越後 やしを・定光 孝子・鈴木節子・田村 ゆり子 林 佳香・蛭町 真理・舟ヶ崎 美英子・山口 静子 横山 真弓・坂井 美鈴
	名簿	教会原簿・管財	橋村 元雄 (小池神父)	山田 恒雄(ワク開発)
	広報	雷の子編集	中原 肇志	堤 貞夫・遠山 悅子・遠山 修 池永 廣美・小林 洋子・隠地 妙
		ウェブサイト	小池 神父	丸井 千尋
		週報	高尾 敏子	坂井 剛・林 佳香・丸井 千尋・笠原 恵
		月報	佐藤 玲子	
	図書	図書の選択 購入・管理・貸出	横塚 千枝子	宇治 淳子・横山 浩美・井上 淑子 高橋 檍・石井 節子・酒谷 和子・三上 昌子
売店	聖品販売	守田 紀美江		小池 裕子・舟ヶ崎 美英子・川本 芳實 橋本 愛子・小林 洋子・秦 ゆう子・池永 廣美

各種対外活動担当 (運営委員: 立木欣吾)

担当	業務	業務内容	責任者	担当メンバー
涉外	教区関係	教区一粒会運営委員会	加瀬 弘子	多摩南宣教協力体より選出
		教区宣教司牧評議会		
宣教協力体 関係	宣教協力体連絡会		立木 欣吾	
その他	施設利用外部団体	小池 神父		
	その他			

平成26年度 カトリック町田教会 実行体制 (II)

典礼委員会

(典礼委員長 兼 運営委員:富樫 和美)

係	連絡担当
聖歌奉仕 グループ	丸茂 いづみ・鈴木節子 吉田 多恵子
朗読手配	赤瀬 亮一・佐藤 昭子
奉 納	佐藤 昭子
典礼の花	結城 万紀子
香 部 屋	畠中 都
ミサ進行係	伊藤 宏・小林 彰・山口 良樹
聖体奉仕者	島田 和人

※冠婚葬祭の連絡 結婚式担当:高尾 敏子
葬儀担当:臼井 みさ

財務委員会

(財務委員長 兼 運営委員:田澤 三郎)

係	業務内容	担当
財源の確保	財政の管理	田澤 三郎
収入管理	郵便	林 茂
	銀行	小池 神父
	現金	定光 孝子
支出管理	現金出納(支払)	神藤 由紀夫
	郵便振込	小池 神父
	銀行振込	坂井 剛
資産管理	資産台帳管理等 (リース含む)	神藤 由紀夫
データ管理	会計・決算データ管理	奥村 耕平

施設管理委員会 (施設管理委員長 兼 運営委員:荻津 兆秀)

係	業務内容	責任者	委 員
施設管理	中長期大規模改修及び修繕 小規模改修及び修繕・定期修繕 教会建設～建設後の教会施設・ 植栽の維持管理及びメンテナンス	大木 雅信	荻津 兆秀・松村 潔・鈴野 将 池田 克久・小池神父

生涯養成委員会 (生涯養成委員長 兼 運営委員:前島千佳子)

係	業務内容	責任者	委 員
生涯養成	信徒の育成・信仰の理解 靈性を養う	水野 貴久子	赤瀬 亮一・加瀬 弘子・寺澤 圭子 林 佳香・岡野 道子・丸井 千尋 前島 千佳子・三谷 凉子・村松 勢津子 喜多 寿子・廣田 和之・小林 洋子
教会学校	土曜学校	吉田 光子 嶋田 弘志	保護者をはじめとする皆さんで構成
	日曜学校	三須 真理 坪山 明美	
	中高生会	島田 和人	
	たまごの会(未就学児のお話会)	小林 由里子	青木 重子・佐藤 千代子・佐藤 玲子 皇 恒子

り、挨拶にきてくださいました。その時、ミサ中のお知らせで、柳沼さんから放射能と野菜との関係を話して頂きました。

「作物にとつての栄養素はカリウム。セシウムとカリウムは似ているので土壤にセシウムが残っていても、カリウムを蒔けば作物はカリウムを選択してセシウムを吸い上げない」と説明してくださいました。皆様も安心してくださいました。

「福島やさい畑」のスタッフは、全員が被災されています。被災された方の苦悩はまだまだ続きます。

ここまで続けてこられたのも、主任司祭の温かい励まし、地域ブロックの大木さん、そして惜しみなく協力してくれた方々、さらには購入してくださる信徒の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。柳沼さんは町田教会の皆様のご理解と深い支援がとても嬉しいと喜んでおられます。これからも、イエス様は被災者の方と共に歩いてくださいます。

私たちもその後に続いています。



ウエルカムテーブル 三川公園お花見

廣嶋 聖

4月12日(土)に、ウエルカムテーブル主催の花見に参

加しました。場所は、神奈川県海老名市の県立三川公園で

した。「三川」は、「みかわ」

ではなく、「さんぜん」と読

みます。実際行ってみたら、

植物の多さに驚きました。桜

は葉桜になりつつありました。

が、五分程花が未だ咲いてい

ました。

実は私が一番驚いたのは、

それではありませんでした。

公園内に入つて暫く行くと、

思いもしなかつた一面の芝桜。

桜のことしか頭になかった私

の目が止まりました。しかも、

さらに公園の奥へ進んで行



2014年度 町田教会の主な年間行事予定

- 1月1日(水) 新年のミサ
 1月12日(日) 成人の祝い・新年会
 2月16日(日) 信者総会
 4月17日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
 4月18日(金) 聖金曜日(主の受難)
 4月19日(土) 復活徹夜祭
 4月20日(日) 復活の主日・お祝い
 6月15日(日) 多摩南宣教協力体司祭巡回ミサ(福島師)
 6月22日(日) 初聖体
 7月6日(日) 堅信式(岡田大司教)
 7月13日(日) 多摩南宣教協力体司祭巡回ミサ(古郡師)
 8月1~2日(金・土) 教会学校夏期キャンプ
 8月15日(金) 聖母被昇天のミサ
 8月31日(日) 避難訓練
 9月14日(日) 長寿感謝のミサ
 11月2日(日) 町田教会合同追悼ミサ
 11月9日(日) 七五三祝福式
 宣教協力体合同墓参
 12月6~7日(土・日) ゆるしの秘跡
 12月24日(水) 主の降誕・夜半のミサ
 12月25日(木) 主の降誕・日中のミサ

くと、大きなカメラをぶらさげて、バードウォッキングをしている方が数名いらっしゃいました。樹が多くれば、それだけ鳥も集まつて来るのであります。鶯の鳴き声が結構聞こえました。

私達も、とある樹の下で敷物を敷いて昼食を摂りました。私は、日曜の第2ミサには参加していないので、参加者の多くは初対面の方でした。それでも皆で色々世間話をして、時間を過ごしました。

すると、私達の世間話が止まつたその瞬間、鶯がさえずり始めたのです。参加者も、それに聞きほれていました。



私はてっきり、私達を敵だと思い、私達が静かになるまで大人しくして、静かになるのを待っていたのかと思つていました。確かにそれもあるかも知れませんね。それにしても、季節感ある鶯の鳴き声でした。

お花見は、花だけでなく、人との会話、そして鳥の鳴き声も楽しめるという、新しい発見をしました。



土曜学校卒業お泊まり会
(3月1日~2日)



復活祭

4月20日

信者動静

2014年2月~4月
(個人情報のため、削除しています)

夕食作り、ゲームなどで楽しんだお泊まり会。参加小学生5名、卒業生は1名でした。

☆「雷の子」300号特集号余話。「雷の子」の題字をデザインされた方々がわかりました。1969年に月報となつた雷の子を一人で担当されていた真中祐一さんが紙面構成変更のために、急遽デザインされたものとのことです。今ではもう不動の題字になっています。

☆「雷の子」次号編集会議予定
6月22日(日)09時30分
於会議室

犠牲献金

中高生会

3月2日	15,430円
(ベロニカ苑へ)	
4月6日	17,685円
(ベロニカ苑へ)	